

新型コロナ対策の徹底を!!

- マスク着用(飛沫感染防止)。
- 手洗いや消毒をしっかりと下さい。
- 3密を回避して下さい。
- 会議は社会的距離を保ち、必要最小限、短時間開催。

またたま

第563号 2021年10月号
 組織現勢 2780人
 東京土建一般労働組合
 府中国立支部教宣部
 発行者 きたたま編集委員会
 事務所 府中市晴見町 2-15-5
 電話 042-363-6554(代)
 F A X 042-363-6847
 http://www.doken-fk.com/



コロナ禍でもチカラ合わせて目標達成

8月から分内事業所の訪問を始めた人見分会です。新規採用などの動きが少ない今秋は苦戦。分会の仲間ひとりひとりに「健診」「ワクチン」などを中心に対話を進め、その中で労災加入や健康保険の相談を受け、第4節で11人の組織拡大目標を達成しました。出陣式も中間決起レクも中止になり寂しい思いがいっぱいの中、「チカラを合わせて」最後まで奮闘を改めて決意しています。



若手の頑張りにベテラン勢も奮起

若手役員の奮闘が際立っているのが鶴代分会です。新入学祝いの申請のおすそめ、どけん火災共済の説明、仕事の交流などをいずれも若手の分会長、組織部長を先頭に行なっています。分会内の事業所対策も今秋は担当書記と連携して、さらに強化して取り組んでいます。もちろんベテラン勢も元気に行動参加。分会一丸となって組織拡大とともに共済推進でも目標達成に向かって、全力疾走です。



あともう少し! 猛奮闘継続

ベテラン勢奮闘! 日吉分会は工務店に集合して、組織部長の「とにかく仲間」ところを回ろうよ! の号令で、毎回2班体制で訪問行動を行なっています。規模の大小を問わず分会内事業所との訪問・対話を力尽くしています。「月間をきっかけに事業所との絆をさらに強く」「仲間の輪を広げる月間に」と組織拡大ももちろん組織強化の前進も成功させるために「あともう少し!」の猛奮闘継続です。



名簿を見ながら綿密な作戦会議

節目を着々とクリアしているいちよう分会は、「群」と「若手対策」を特に重視しています。訪問先は各行動日毎に「今回は〇群と〇群の仲間を訪問しよう」と群単位での訪問をするほか、若手・後継者世代の仲間への訪問と対話を重点的に行ない、分会の将来を見据えた活動もしています。月間序盤には日中の事業所訪問も行ない、全方位型の仲間づくりで着実に目標達成に近づいています。



粘り強く丁寧に、一人一人を大切に

北美分会は若手・後継者対策を重視した仲間づくり行動を進めています。分会センターに集まるベテラン勢が分会の若い仲間と新加入者への訪問と対話を進めています。組織拡大も事業所からの加入が少ない秋は組織拡大で節目を着実に達成しています。とにかくコロナ禍の下でも「ひとりひとりをたいせつにする仲間づくり」を粘り強く丁寧に行なっています。



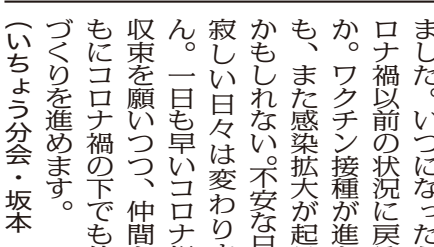
女性の会のメンバーが仲間づくりの推進力

第1節で早々に組織拡大目標を達成した中河原分会は、女性の会のメンバーが分会全体の仲間づくりの推進力になっています。女性の会高橋会長、海老澤事務局長を中心に女性の会主催の「フラワーアレンジメント教室」のお誘いや会員拡大の電話かけに奮闘。男性陣も女性の会の奮闘に引っ張られて、コロナ禍でも仲間とのつながりを絶やさない対話を電話や訪問で行なっています。



分会の将来担う若手対策を重視

夜の取組みの参加は難しくても、仲間づくりは進めよう!、国立分会の若手役員はそう意志統一して、秋の仲間づくり月間がスタートしました。現場で出会った職人には「東京土建って知ってる?」「労災とか健康保険とかどうしてるのよ?」と声かけをしています。分会の仲間づくりとともに、現場での組織拡大にも挑戦する国立分会は第4節で組織拡大の目標を達成、さらなる飛躍を目指しています。



いちよう分会・坂本 敦

コロナ禍以前の状況に戻るのか。ワクチン接種が進んでも、また感染拡大が起こるかもしれない。不安な日々、寂しい日々は変わりませせん。一日も早いコロナ禍の収束を願いつつ、仲間とともにコロナ禍の下でも仲間づくりを進めます。

2021秋 仲間づくり月間中間経過報告

人見・中河原・国立が目標達成(第4節時点)



松本組織部長

人見

秋の仲間づくり月間はよいよ最終盤となりました。2021年も新型コロナウイルスという見えない脅威とたたかいながらの仲間づくり月間となりました。

鶴代

若手役員の奮闘が際立っているのが鶴代分会です。新入学祝いの申請のおすそめ、どけん火災共済の説明、仕事の交流などをいずれも若手の分会長、組織部長を先頭に行なっています。

日吉

ベテラン勢奮闘! 日吉分会は工務店に集合して、組織部長の「とにかく仲間」ところを回ろうよ! の号令で、毎回2班体制で訪問行動を行なっています。

いちよう

節目を着々とクリアしているいちよう分会は、「群」と「若手対策」を特に重視しています。訪問先は各行動日毎に「今回は〇群と〇群の仲間を訪問しよう」と群単位での訪問をするほか、若手・後継者世代の仲間への訪問と対話を重点的に行ない、分会の将来を見据えた活動もしています。

北美

北美分会は若手・後継者対策を重視した仲間づくり行動を進めています。分会センターに集まるベテラン勢が分会の若い仲間と新加入者への訪問と対話を進めています。

中河原

第1節で早々に組織拡大目標を達成した中河原分会は、女性の会のメンバーが分会全体の仲間づくりの推進力になっています。

国立

夜の取組みの参加は難しくても、仲間づくりは進めよう!、国立分会の若手役員はそう意志統一して、秋の仲間づくり月間がスタートしました。

仲間づくり月間中間成果表

分会名	目標	成果
人見分会	11	13
鶴代分会	11	8
日吉分会	11	8
いちよう分会	11	9
北美分会	11	9
中河原分会	11	13
国立分会	11	12
直 属	37	30
合 計	114	102

青年部員拡大も好調!

皆様お疲れ様です! 青年部長の秋元一樹です。秋の月間では、各分会に訪問することはもちろんのこと、それぞれが自分と近いところの青年部対象者に、「部会と一緒に頑張ろうよ!」と声掛けして部員を増やす動きをしています。また、青年部OBが群会議で会った若い組合員に「青年部って知ってる?」と紹介してくれて、青年部加入に繋がったこともありました。その結果、9月に行われた青年部会では、初参加者を含む11人が集まりました。青年部員ではこれからもそれぞれが出来ることに少しずつ取組み、大きな青年部を作ります!



道具箱

新型コロナウイルスの感染拡大が始まって二年近く、しばらく帰っていない函館の実家で一人暮らしの母のことが気掛かりです。また最近になって分会の仲間も一人、二人と亡くなっていき、寂しい限りです。コロナの影響で、去年は暗い一年。仕事と組合の活動以外はほとんど家を出ることがなく、息抜きに外出することも出来ず、知人と会うこともない何とも「殺風景な一年」でした。そうした中でも組合の諸運動は引き続き分会の仲間、支部の仲間とともに進めています。住宅デーやレクリエーション、新年会や忘年会などの交流企画など新たな仲間との出会いや絆を深める取組みが次々に中止になり、本当に寂しいです。二十代の頃はブラックな残業続きの毎日、幸せな状態ではなく、寝ることもただが唯一の楽しみでした。現在は独り立ちし、以前のようなブラックな状態ではないが忙しい毎日です。▼新型コロナウイルスの感染が拡大し、「普通の日常」が奪われました。いつになったらコロナ禍以前の状況に戻るのか。ワクチン接種が進んでも、また感染拡大が起こるかもしれない。不安な日々、寂しい日々は変わりませせん。一日も早いコロナ禍の収束を願いつつ、仲間とともにコロナ禍の下でも仲間づくりを進めます。

仕事・暮らしに関わる大切な一票

Go to Vote!!
衆議員選挙

後継者部 衆議院議員選挙政策・要求アンケート結果発表

- 【質問項目】
- ① アスベスト飛散防止事前調査費用・除去費用助成制度の創設
 - ② 建設国保育成・強化に対する補助・助成
 - ③ 中小零細企業へのコロナ支援策の拡充
 - ④ 建設業者育成と若い世代の建設労働者の定着・育成
 - ⑤ コロナ禍の下での子どものを守る施策
- ※回答全文は支部ホームページ(doken-rk.com)で閲覧することができます

	東京第18選挙区(府中市・小金井市・武蔵野市)	東京第21選挙区(国立市・立川市・日野市など)			
	菅直人 (立民・現職・13期)	長島昭久 (自民・現職・6期)	小田原潔 (自民・現職・3期)	大河原雅子 (立民・現職・1期)	竹田光明 (維新・元職・1期)
項目①	アスベストによる被害は重大な問題と考える。飛散防止の事前調査、解体・改修工事の除去費用助成制度の創設は必要であり、賛成。	今後、アスベストを使用した建築物の解体が行われることから、建設従事者の被害を最小化する必要がある。事前調査費用、除去費用への助成制度は国の責任を果たすうえでも必要。	改正大気汚染法により強化された建築物等の解体・改修・補修工事に伴う石綿の飛散防止を徹底するため、事業者に対する補助制度についての議論を進めていくことが必要。	今回の改正に基づいた飛散防止事前調査費用、解体・改修工事の除去費用助成制度の創設は必要なことと考える。	助成対象の拡大(新制度創設含み)に向けては管理者責任や当該建物の受益者の存在、既にある補助制度とのバランス等を踏まえ、その妥当性と対象範囲について、十分な検討を要する。
項目②	建設国保は建設労働者にとって大きな役割を担っており、建設国保の育成・強化は重要であり、賛成。	建設労働者の高齢化が進み、建設国保の財務状況は急激に悪化している。その上でアスベスト問題にみられる健康被害も他の産業に比べて非常に大きい。建設国保の育成強化に国費の投入をすべき。	国保組合は、同種同業の保険集団として加入者の健康の保持増進等に尽力いただいております。自主的な運営に基づく保険者機能は重要。建設国保においても保険者としての役割を十分発揮していただけるよう国の支援を後押しする。	人材確保・育成・強化のためにも建設国保の特定健診や指導に対する助成、がん対策事業への支援は不可欠だと考える。	建設業界や支持団体等から長らく要望が出されているが、他の国保組合との均衡や公平性を考慮し、医療保険制度の抜本的改革や労働環境整備等と併せて慎重に検討されるべき。
項目③	中小零細企業に対するコロナ支援策の拡充は必要と考えており、実現に努力する。	給付金や助成金はこの厳しい状況を切り抜けるうえでは欠かせないもの、今後も追加して給付されるべき。消費減税は我々の生活に大きなプラスをもたらすもの、ぜひとも実現したい。	コロナで厳しい影響を受けた事業者への協力金の迅速至急、雇用調整助成金の維持、無利子無担保融資事業の継続など感染状況や経済的影響を注視しながら、臨機応変に必要な対策を講じる。	コロナ禍における支援の拡充が必要。家賃支援・持続化給付金の再支給などに加え、きめ細やかな支援策で対応すべき。消費税は時限的に5%に引下げ、内需拡大・地域経済の活性化に取り組む。	家賃支援、持続化給付金の復活、決算ベースでの損失補填制度の導入、消費税は当分の間(2年が目安)5%に減税することが必要。社会保険料については、一定基準を設けて支払の減免を行なうべき。
項目④	若い世代の賃金水準が上がらない状況が続いています。最低賃金の引き上げなど、建設労働者についての処置改善をもっと進めるために努力する。	賃金の引上げについて内閣総理大臣が財界団体に要請しているがコロナ禍において低所得者にしわ寄せが起きているため、引上げには景気回復が必要、賃金上昇につながる景気回復を実現する。	建設労働者への適正賃金の支払確保など働き方改革は建設業の将来の担い手を確保する観点からも極めて重要。公共工事設計労務単価の引上げを通じ、適切な賃金水準と休日確保ができるように努める。	賃金水準の向上・維持の改善に取り組む。	勤労意欲の向上を図り、現場の生産性と待遇・賃金水準を上げることが必要。労働分配率の高い事業者に減税などのインセンティブを講じるなど、事業者が独自に生産性向上の努力をすることが不可欠。
項目⑤	家庭内感染が拡大しており、心配しています。小中学校での対策に加えて、家庭内での感染拡大を防ぐため、感染者の隔離施設とそのフォロー体制を充実すべき。	地方公共団体や保健所など公的な機関が物心両面でサポートする取組みを進める。また現在対象外の12歳未満へのワクチン接種、治療薬の開発なども国の責任で行っていくべき。	感染拡大状況に関わらず、子どもの学びを最大限保障する。全ての子どもたちの学習の遅れを取り戻し、可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現する。抗原検査キットを全ての幼児児童に配布、迅速な検査推進など感染拡大対策を講じる。	教育の遅れだけでなく、ストレスなど精神面にも影響が考えられる。学校での感染予防、健康観察の徹底、子どもたちの不安に寄り添ったケアの実施、地域で子どもを守る、育むことが重要。	リモート授業の出席扱い、休校に際して活用しやすい休業補償制度の復活・拡充、健康・安全面を配慮したうえで児童の運動不足解消、隔日登校の導入など通常に近い日々が過ごせる体制の構築。

第11回・宮城県気仙沼市

田舎自慢
(おらがふるさと)



宮城県気仙沼市と聞いて皆さんは3・11の東日本大震災の時の大火災が思い出されますか？その気仙沼が私の故郷です。海産物はなんでもいつでも美味しいです。その一部をあげると、

あわび・いか・うに・たに・ひらめと、そして苦手な人が多いようですが産地で食べる「ほや」はひと味違います。お試しあれ。そして「たこ」は煮る焼くはもちろん、刺身にしゃぶしゃぶ、最近ではカルパッチョと、酢の物だけではありません。

漁師ならではの暮れには「なめたカレイ」を神棚に御供えし大漁を祈願する家もまだあります。それとフカヒレも有名です。気仙沼市内の鮎店ではフカヒレ鮎も食べることが出来ます。港の近くにはシャークミュージアムや震災後に俳優の渡辺謙さんのお店が出来たり、港から亀山がある大島まで船で渡ることができたりします。今は船が無くて長いこと待ち望んだ橋がかかり、車でも行けます。大島には海水浴場や「十八鳴浜」(くぐりはま)と呼ばれる鳴浜がある浜、亀山の展望台など見所

【宮城県気仙沼市】
宮城県北東端の太平洋沿岸で岩手県との県境に位置し、三陸海岸の一部を成す人口約58,000人の市。

どけんファミリーカード
新規提携店紹介



東寿司
多磨霊園駅徒歩3分
(府中市清水が丘3-24-1)
Tel. 042-365-6266



どけんファミリーカードを提示すると…
ファーストドリンク1杯サービス
※営業時間・定休日などは配布チラシをご参照下さい

新型コロナワクチン集団接種 「予約が取れない…」 仲間の声に応じて178人が参加



9月19日と10月10日、府中診療所で新型コロナウイルスワクチンの集団接種を開催し、178人が参加しました。

7月頃から支部には「市のワクチン接種が始まったけど予約が取れない」「ワクチンを接種して重症化を防止したい」などワクチン接種に関して仲間からの切実な声が寄せられるようになり、支部社保対部で「仲間の要求に応えるために支部での集団接種を実現しよう」と集団検診の契約医療機関でもある府中診療所との交渉を始めました。

府中診療所の河内拓巳事務長は「労働組合でのワクチン集団接種は画期的な取り組み。東京土建府中国立支部からの要請を受け、改めて地域医療の担い手としてのやりがいを感じた」と述べました。

社会的距離を保って受付

無料法律相談
10月29日(金)
13:30～支部会館
※事前の電話予約が必要です

支部休館日
11月2日(火)午後

正社員募集
大神
募集職種：解体工 電工 営業事務
条件：経験者・有資格者・普免
連絡先：080-8004-0110